



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

5G通信

Vol.1

CES 2018開催～世界の注目は5Gへ～

1月に米ラスベガスで開催されたCES 2018、今年は特に5G関連の技術や5Gを基盤としたIoT関連コンセプトが披露され、世界中の注目が集まりました。

CES 2018「次世代通信5G」+「IoT」に注目集まる

CES(家電見本市)は、毎年1月上旬に米国で開催される世界最大級のハイテク製品展示会で、今年は1月9～12日に開催されました。大手ハイテク企業からベンチャー企業に至るまで、世界中の企業が出展することから、株式市場の注目度も高く、毎年多くの市場参加者が視察に訪れます。

1967年以降50年の歴史を持つCESは、これまで数多くのイノベーション(技術革新)の登竜門となってきました。古くはCD(コンパクト・ディスク)や衛星ラジオもこの場で紹介され、近年では自動運転やIoT(モノのインターネット)の展示が多くなっています。今年は特に5G(第5世代移動通信システム)関連の技術や、5Gを基盤としたIoT関連コンセプトが披露され、注目が集まりました。



5Gに関する講演や展示が注目されたCES2018(イメージ図)

5G関連企業の講演内容

クアルコム 「5Gの実現は想定よりも早い」

- 米半導体大手クアルコムのアモン社長は、移动通信機器の技術革新のためには5Gの通信インフラが重要である点を強調
- 5G機能を搭載したスマートフォンは早ければ2019年にもリリースされるとの見方で、想定以上のスピードで5Gに向けた各社の対応が進んでいることを示唆

サムスン電子 「IoTの快適な利用の為には5Gが必要」

- 身の回りにある様々なモノが無線通信で繋がるIoTが本格化している点について言及
- IoT機器の快適かつ安全な利用のためには、今よりも「洗練・発展した通信網」が必要である点も強調。同社は5G開発に際し、各国大手通信機と提携している点をアピール



次世代通信技術の基盤「5G」は将来不可欠という世界共通認識

CES 2018では、第4次産業革命と呼ばれる次世代通信技術の基盤となる5Gに関する展示が多く見られ、注目度の高まりが見てとれました。現行の技術で自動運転やスマートハウスなどの最終製品を作ることは可能ですが、「快適」かつ「安全」な利用のために5Gの通信網は今後欠かせないものになる、との見方は世界共通認識となっています。

過去の例を振り返ると、CESで注目された技術的なテーマは、投資の面でも注目されることが多いことから、5G通信の広まりという長期的な投資テーマの中で、関連企業は業績面での恩恵を受けることが期待されます。

※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。



【 ご留意事項 】

- 当資料はニューバーガー・バーマンの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。